

貴同盟に於て最近に於てアジヤ労働者大会を開かれると云ふことを聞き  
及びました。お入る大会の召集を祝します。此の大会は、アジヤの職  
業階級運動に多大の利益を齎すものでありうことを期待します。祝しまし  
ては、尚評議会もこの大会に参加したい希望を持つてゐることを公  
式に通牒いたします。それ以外此の大会に関する詳細なる細末をお知  
らせ下されば幸甚に存じます。

大正十五年一月二十四日

日本労働組合評議会

日本労働総同盟中

此の由に對し、総同盟会長 鈴木文治氏より、之の回答に披した。

拝復、汎アジヤ労働者大会開催に關する件は、第四回國際労働會議  
に出席の際、印度代表と相談致し其実行方法は一切私に一任されま  
ります。  
尚亦、英日臨時大會に於ても同様の如き決議も致して居りました。此  
の同題は極めて重要なることであるので、目下審議中である

ことを御目録申し上げます。

野田 龍太 様

鈴木 文 治

アハスレルガム國際労働組合同盟への回答

一九二五年六月九日附でアハスレルガム國際労働組合同盟執行委員会から評  
議会所属の各組合へ「組合論査」に關する依頼並に模範希望の書面が来た。  
第五回常任委員会は、各組合個々に回答せず中央委員より代表的に回答する  
ことを決議し、八月十日附を以て、大要七の如き（全文労働新聞第五号掲載）  
回答文を送つた。

「現在世界に二つのインダニヨナルが対立してゐるのは、世界の租産階級  
解放運動上大なる損失である。貴同盟統一の大インダニヨナル組織の  
ために在米の態度を更めてモソト誠意を示されたい。貴同盟が第一インダ  
ニシヨナル組織に充分なる誠意を示さるなら、吾評議会は喜んで貴同盟  
と提携するであらうし、  
而して以上の回答文に添へて評議会の模範文、及規約を送付して置いた。